

熊谷雄一市長(右から3人目)に総合成績1位を報告した選手ら  
=25日、八戸市庁



# 13年ぶりの総合1位報告

## 国スポ | H青森県勢、八戸市長に

今月上旬に岡山県で行われた、第79回国民スポーツ大会冬季大会アイスホッケー競技会で、青森県選手団が13年ぶりの総合1位に輝いた。選手たちは好成績を喜ぶとともに「地元で開催される次回の国スポでも1位を目指す」と新たな目標を掲げている。

成年男子は、準々決勝で東京に惜敗。順位決定戦で2勝を挙げ、5位となった。少年男子は3年連続で準優勝。総合成績で、2012年の第67回

愛知大会以来の頂点に立った。

25日は選手ら5人が八戸市庁を訪れ、熊谷雄一市長にトロフィーや表彰状を披露。成年の武田裕大主将(学校法人光星学院)は「着実にレベルアップしている。来年は成年でも、総合でも優勝を目指す」と意気込んだ。少年の米田将騎主将(工大一高3年)は「次は今回以上の結果を残してほしい」と期待していた。

トロフィーは、テクノルアイスパーク八戸に展示される。(千葉達也)